東日本大震災
医療支援「こころのケア」チーム
第11班　活動報告

期間　5月22日（日）～5月28日（土）
場所　岩手県大船渡市

真栄里仁　　小川佳子　　塘祐樹

第10班から11班への引継ぎ

10班のみなさん　ご苦労様でした

合同庁舎でのオリエンテーション
5月23日（月）

被災者の待ちに待った仮設住宅ができ、入居が始まった

実際に入居すると、次第に課題が明らかになってきた

被災所と仮設住宅のギャップの大きさに戸惑っている

応急仮設住宅　大船渡市営球場

普通の生活に戻る

自分で食事を確保する

電気・ガス・水道を自分で契約する

買い物、ゴミ捨てもすべて自分で・・・

これからは自立に向けての支援が必要となる。

アルコールに関して・・・

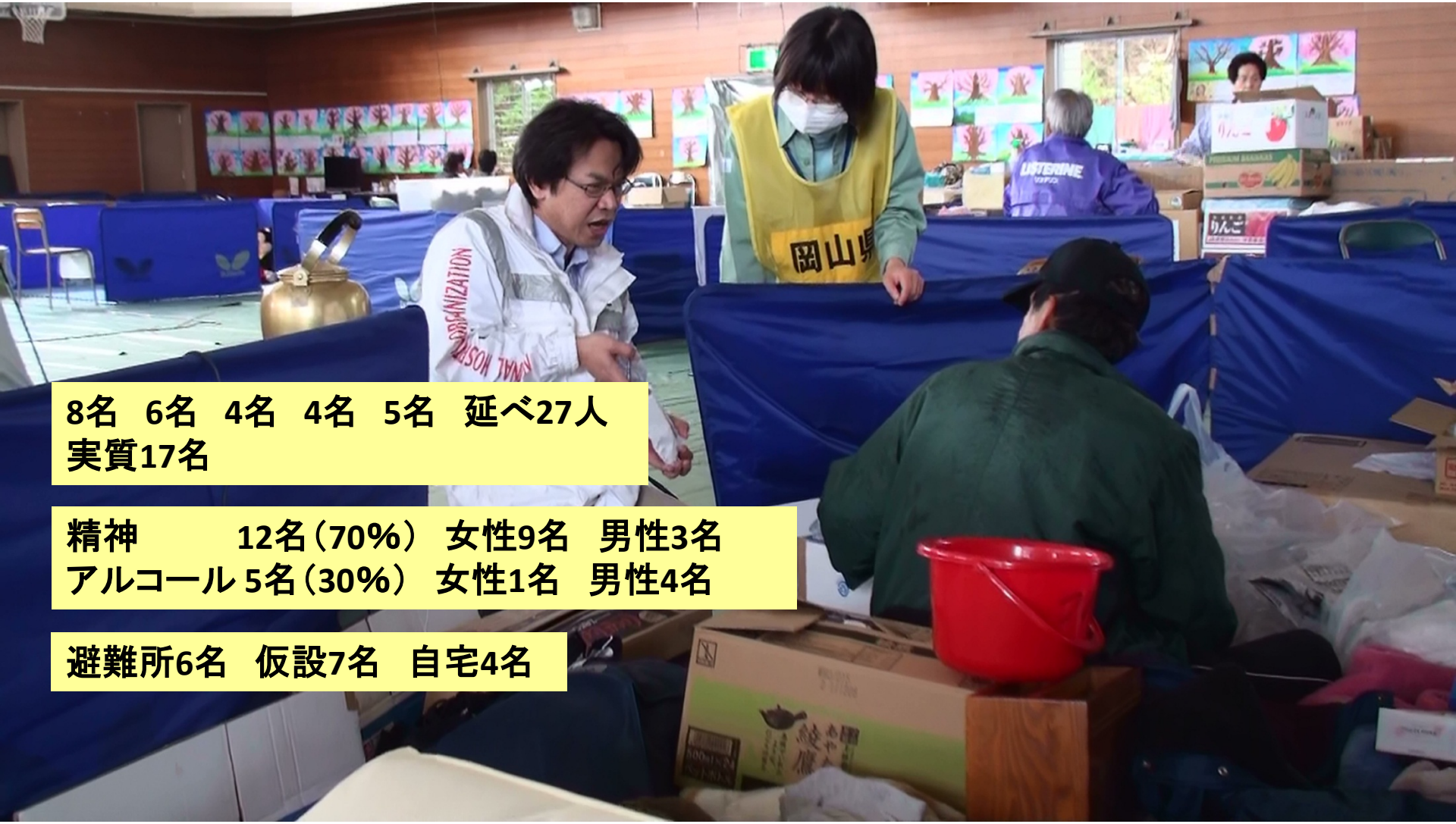
地元の傾向として…

大漁旗を掲げて帰ってきては一気に大金を使ってしまう（飲んでしまう）

義援金や弔慰金を短期間で飲んでしまう可能性がある

11班の活動

23日（月）～27日（金） 5日間



8名　6名　4名　4名　5名　延べ27人
実質17名

精神　　12名（70%） 女性9名　男性3名
アルコール 5名（30%） 女性1名　男性4名

避難所6名　仮設7名　自宅4名

11班の活動

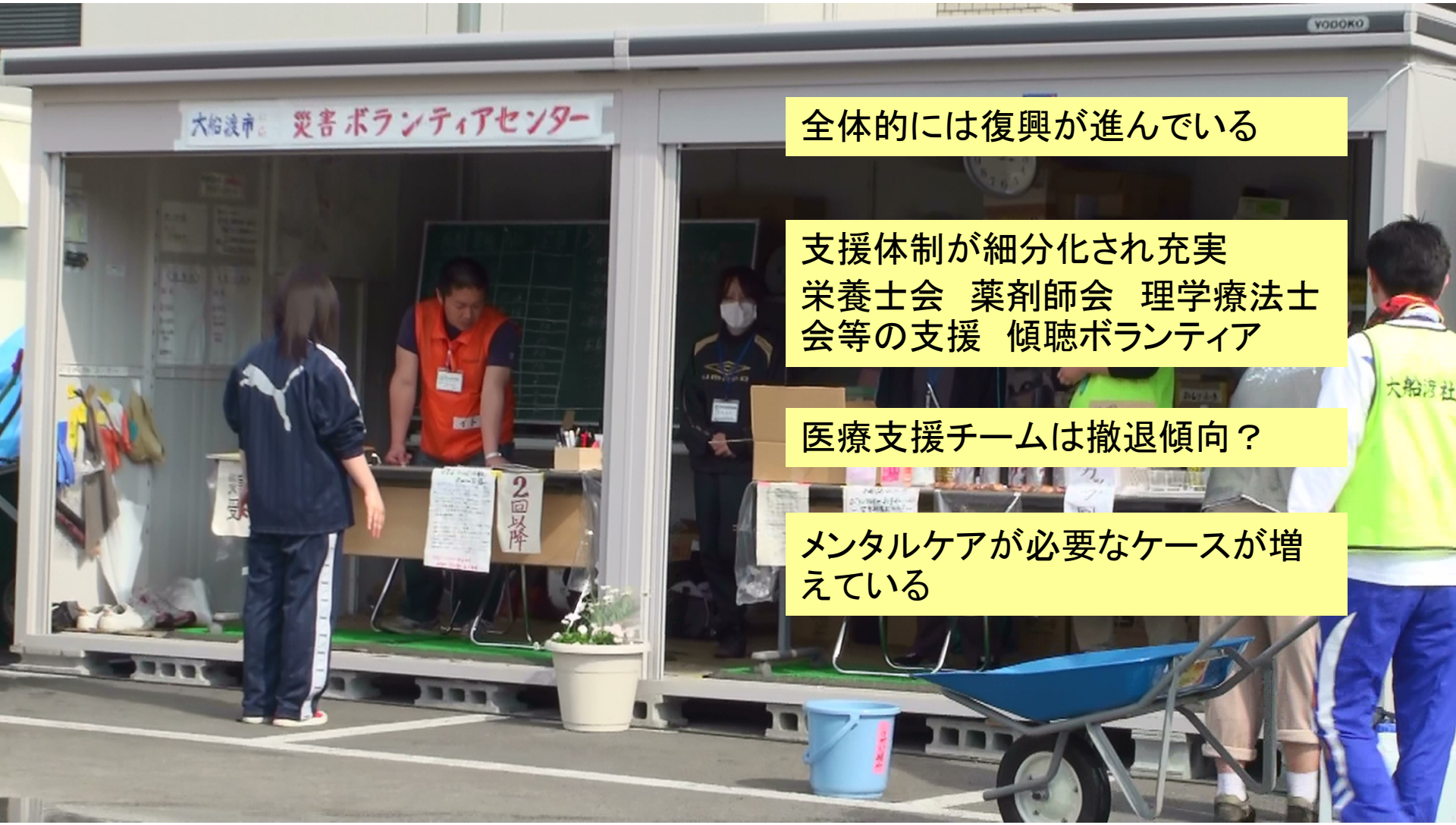
仮設住宅・自宅訪問時の心がけ

連絡が可能な方には、必ず事前に連絡をして訪問する。

＊不在が多い　＊プライバシーにいきなり入り込むことになる

以前の支援時との相違（大船渡市）

2班　4班　8班



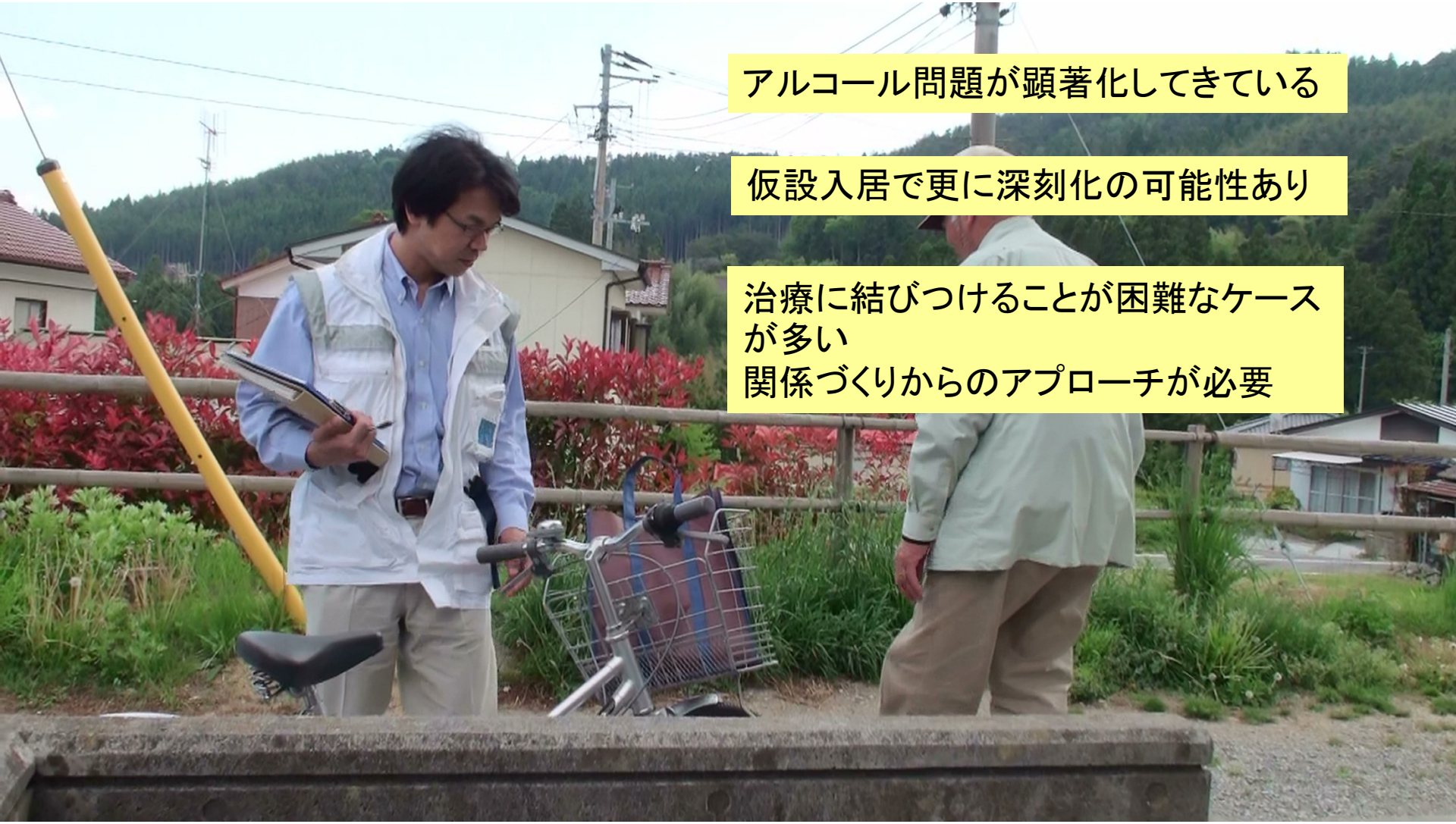
全体的には復興が進んでいる

支援体制が細分化され充実
栄養士会　薬剤師会　理学療法士会等の支援　傾聴ボランティア

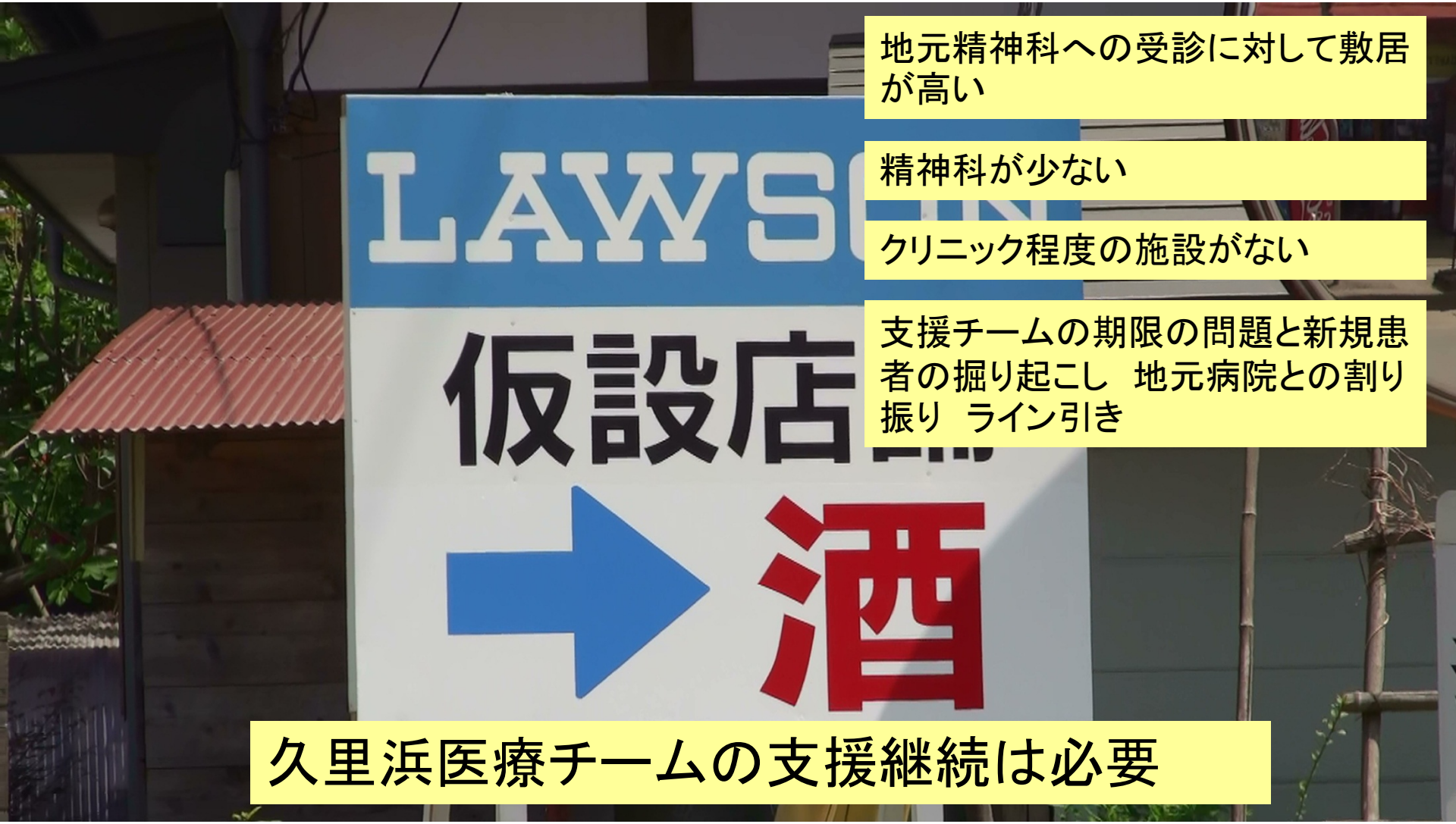
医療支援チームは撤退傾向？

メンタルケアが必要なケースが増えている

以前の支援時との相違
アルコール問題は…



今後の課題



地元精神科への受診に対して敷居が高い

精神科が少ない

クリニック程度の施設がない

支援チームの期限の問題と新規患者の掘り起こし　地元病院との割り振り　ライン引き

久里浜医療チームの支援継続は必要

岩手県の夕日

ドライブ　　by真栄里